



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA

スポンサー 大阪クラブ DBC 近江八幡クラブ 広島クラブ

AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

主題・スローガン

- 西宮クラブ会長 「楽しく充実した活動」 浅野純一
- Yサ・ユース 「次世代に向けてYウイズ・Y YMCA・Yユースが相互に、
事業主査 Wウィン・Wウィン・Wウィンで立場持ち場を越えて支え合おう」 小野勅紘
- 六甲部部长 「YMCA とのさらなる協働を目指して」 井出 浩
- 西日本区理事 「未来に灯そう希望の光り」
「互いに認め合おう 世界の友と」 深谷 聡
- アジア会長 「変革のための光となろう」
「親睦を通して、輝き、力を得よう」 利根川恵子
- 国際会長 「輝かそう、あなたの光を」 ウルリック・ラウリドセン
「良いコミュニケーションは、全ての協力関係の基礎である」

2024年
5月
913号
(77期11号)



5月 西日本区強調活動

LTOD リーダーシップを学んでください！クラブ・部・区等あらゆる機会に学びの場があります。全てを有意義に捉え、スキルアップしてリーダーシップを身につけてください。

中村 隆司 ワイズリーダーシップ開発委員長（京都ウェル）

YIA ユースの活動に応援と支援を！

吉田 由美 Yサ・ユース事業主任（大阪なかのしま）

西宮ワイズメンズクラブ 5月第一例会

日時：5月10日(金) 19:00-20:00
場所：西宮 YMCA 3階会議室
ドライバー：岩田健司、馬場貴英

- 1. 開会点鐘 浅野純一 会長
 - 2. ワイズソング 一同
 - 3. 聖句朗読 小野詔勅メン
 - 4. スピーチ 馬場貴英メン
『半導体最前線、
話題のTSMCってどんな会社？』
 - 5. 誕生日お祝い 浅野純一 会長
 - 6. ワイズニュース 浅野純一 会長
 - 7. YMCA ニュース 森川俊介 担当主事
 - 8. 閉会点鐘 浅野純一 会長
- ※食事はありません

5月誕生日のお祝い

- 4日 足立康幸メン
- 7日 馬場季公子メネット
- 30日 馬場貴英メン

今月の聖句

「わたしの兄弟たち、自分は信仰を持っていると言う者がいても行いが伴わなければ、何の役に立つでしょうか。そのような信仰が彼を救うことができるでしょうか」

ヤコブの手紙 2章 14節
小野勅紘選

4月出席状況 (在籍会員数 21名)

第一例会 (26金)		第二例会 (12金)	
メン	15名	メン	10名
メネット	1名	メネット	0名
ゲスト	4名	ゲスト	0名
MU	0名	計	10名
合計	15名	出席率	71.4%

ファンド	4月	累計
ニコニコ	¥0	¥19,200
BF	¥0	¥19,900

会長 浅野 純一 直前会長 濱 浩一 副会長(次期会長) 濱崎 進一 副会長 足立 康幸
 書記 山口 吉郎, 小野 勅紘 会計 濱崎 進一, 重村 仁 監事 阪根 新, 丸山 悦治 担当主事 森川 俊介
 Yサユース事業主査 小野 勅紘 組織検討安全対策委員 山口 吉郎 次期六甲部長 小野 勅紘

会長メッセージ



会長 浅野 純一

今年もGWの季節になりました。1年で最も気持ちよく過ごせる時ではないでしょうか。ワイズメンズクラブの活動は、これから年度末に向けてまとめ季節に入ります。

さて、神戸YMCAの24年度の年間聖句は

「平和を造る人々は幸いである」(福音書5章9節)と記されていました。またそれは西宮クラブの4月の月間聖句でもありました。多くの人々がイエスに病気を癒してほしい、生活の糧を与えてほしいなどの救いを求めてイエスに従いました。山上に上ったイエスが人々に語った教えが山上の垂訓ですが、人々はそれを理解できずがっかりもしました。年間聖句はその一つです。

高校で「倫理社会」を担当していたとき、教科書にも山上の垂訓が囲みで記されていました。この「平和を造る人々は幸いである。(その続き)その人たちは神の子と呼ばれるから」。私はよくわからずスルーしました。たまに質問してくる生徒がいます。もし質問されたらうれしいことですが、「わからん」で済ませたと思います。いま、改めて考えてみますが、イエスが語る平和とは何なのか、私なりに考えると、勝手なことをいって申し訳ないのですが「人間のなかにある争いごとを起こす心をなくしなさい」でしょうか。

高校では政治社会も担当しました。その視点から見ると以前にも記しましたが、国際社会の本質は「力が支配する社会」です。従って戦争は絶えません。戦争を防ごうと国際法や安全保障機構がつくられていますが、確固たる国際機構や国際法は存在しません。結局、平和を、そして国民の命を護るのは国家の仕事です。

冷戦時代において核戦争を恐れたのはヨーロッパを中心とする人々です。人々の見えるところに核ミサイル基地があり、多くの国で核シェルターが備えられました。おもな国の普及率はスイス100%、イスラエル100%、アメリカ82%、ロシア78%、

イギリス67%です。わが国での普及率は0.02%で、核シェルターを備えた住宅もごく一部あるようですが、官庁や大企業で備えられている程度とかわれます。

日本では国民保護法が平成16(2004)年に制定されました。しかし、国民に浸透していません。北朝鮮のミサイル発射実験に際して警戒アラートがしばしば発せられています。今や日本は世界で最も核戦争の危険地帯にあるのではないのでしょうか。わが国でも核シェルターの備えをすべきとの声が高まっています。

先ごろ、台湾有事に備えて南西諸島で住民を救出する大規模な訓練が行われたのをニュースで見ました。離島の人びとは大変だと思いましたが、それは決して他人事ではありません。神戸・阪神地域では平成7年の大震災まで地震に対する意識は希薄でした。いまは地震に備える気持ちは高まっています。それと同様の気持ちを戦争への備えとして持たなければならぬのではと思います。

4月例会報告

森川 俊介

日時：4月26日(金)18:30~20:30

会場：カクチーナケインカント

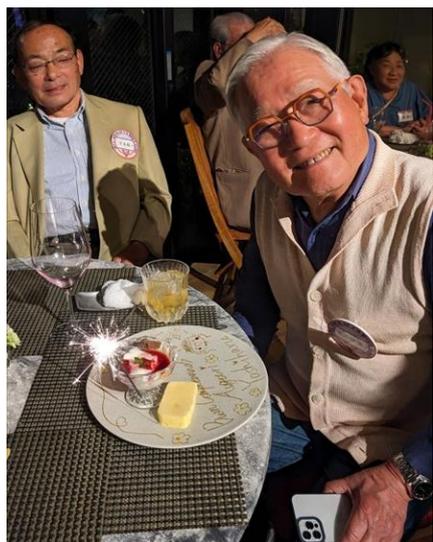
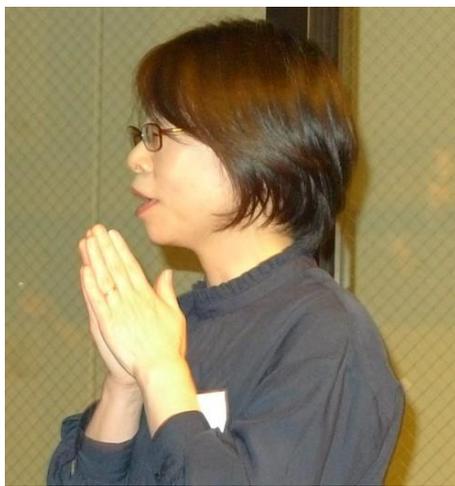
ドライバー：廣瀬メン、森川メン

4月例会は西宮YMCA職員との懇親会を香櫨園にあるカクチーナケインカントで行いました。4月から転任してきた職員1名を含む4名の職員を招きました。

それぞれの業務とYMCAとの関わりを含めた自己紹介をしてもらいました。いずれの方からも子どもたちへの熱い想いが伝わってきました。

そして、イタリアの映像と料理、そして音楽を楽しみながらの交流は素敵な時間となりました。





今回貸し切りにできず、ご不便をおかけしましたが、初ドライバーを皆さんのご協力のもとに終えることができたこと嬉しく思います。今後ともよろしくお願いたします。4月例会参加者は、(メン

バー) 浅野、足立、岩田、石井、小野、重村、濱、濱崎、廣瀬、廣瀬メネット、藤原、丸山、万本、森川、山口、山本、16名(ゲスト) 本山哲也、大谷真理子、伊藤智美、加藤由美、4名 計20名です。



YMCA ニュース

担当主事 森川 俊介

新年度がはじまり、約1か月がすぎました。YMCA もまた新たな体制でのスタートを切っています。今年度も育成センターや保育園、発達支援事業など様々なプログラムにたくさんの子どもたちが参加をします。新しい環境に期待をしている子ども、また不安を感じたり、気を張っている子ども、様々な顔を見せています。その一人ひとりに寄り添っていけるようにしていきたいとスタッフ間でも話をしています。

1. 西宮YMCA ニュース（香櫨園放課後キッズ）

新年度が始まりました。私が担当している香櫨園小学校放課後キッズでも日々子どもたちはいろんな表情を見せてくれています。新しい環境の中でさまざまな感情が錯綜しているからか、いつも明るく元気だと思っていた子ども、何だか今日は疲れた表情をしている・・・ということもよくあります。自転車を漕ぐ時、重い荷物を持つ時、最初にグッと力を入れなければいけないのと同じく、何かの始まりにはエネルギーが必要です。日々子どもたちと関わるスタッフとして、子どもたちが置かれた環境や気持ちを汲み取りながら、子どもたちと接していきたいと思っています。（藤井朱音）



2. 今後の予定

1) YMCA 創立記念礼拝（138周年）

日時 5月11日(土) 10:00~11:00 (9:30 開場)

会場 神戸YMCA三宮会館チャペル

メッセージ 尾堂 拓哉 先生（日本キリスト教団
西神戸教会 牧師）

2) 神戸YMCA 大会（総会、YMCAEXPO）

日時 6月22日(土) 10:00~15:00

会場 神戸YMCA 三宮会館チャペル

芦屋クラブ2月第一例会に参加して

小野 勅紘（俳号：直行）

芦屋クラブの2月例会にお招きいただき、以下に纏めました。

講師は何と俳句界の重鎮で高濱虚子の曾孫で「ほととぎす」を主宰されている稲畑廣太郎さんで、早々にホテル竹園芦屋に到着しました。ほどなく稲畑廣太郎さん（本名はいなばた）が到着され、サインまで頂戴し、私の拙句まで差し上げた次第でした。

俳句とのご縁は、今から10年以上前に偶然訪ねた愛媛県松山市の正岡子規記念館での「子規顕彰記念俳句全国大会」を知り、毎年投稿しておりますが、今迄一度も入選の榮譽は叶わず。

当時の審査委員長は廣太郎さんの母上の稲畑汀子先生でしたが、一昨年他界されて廣太郎さんがその後を継がれておられます。（芦屋市内で高濱虚子記念館を運営）

そういった中での今回の講演。講演の内容は大野勉さんの原稿に委ねるとして、私は俳句の特色をお話してみたいと思います。

俳句は誰でも自由に「花鳥風月」を表現できる日本が世界に誇れる文芸芸術だと思います。短歌（和歌）もそうですが、俳句は日本語を充分理解出来なければ表現出来ない芸術です。多くの外国人が日本の武芸や芸術に挑戦する中で、殆ど日本人でしか表現出来ない分野です。

それは「音節文字」（単語中心文字）である外国語に比べて、日本語独特の「音素文字」（50音の発音の組み合わせ）でしか表現出来ないからです。



特に僅かな助詞（てにをは）にまで微妙な心情表現を可能にする「俳句」は素晴らしいものだと思います。現在ユネスコの無形文化財に申請中ですが、果たして世界に通じるかどうか、貴重な講演でした。神戸ポートクラブの大野、細見両メンの他に、西宮クラブからは、浅野会長、重村メン、私がビジター参加しました。

私の俳句との出会いは、小学4年の国語の授業で俳句が出て、季節の言葉（季語）を入れて、5-7-5に並べればよいとのことで、無謀にも友達と、当時の毎日小学生新聞に投稿したところ、意外にも特選に選ばれてビックリ！小学生には難しいので、投稿が少なかったせいではないかと予想されます。

その時の作品が「小山から街を眺める五月かな」というもので、学校の裏山の六甲山から見たまを出したものでした。その時の講評が「五月（さつき）の様子がよく表れている」とのことで、「五月」と書いて「さつき」と読むことすら知らず、父が「それでよく投稿したものだ」と呆れていた記憶があります。その後すっかり忘れていましたが、定年後、会社の先輩から会社の OBOG 会の俳句サークルに誘っていただき、現在に至ります。

会での私の評価は「ユニーク（湯に行く）」だとか。季語入りの川柳の範疇のようです。サークルでは平均年齢が高くなり、欠けていく方もあり、寂しい中、頑張っている今日この頃です。この4月にもお一人鬼籍に入られました。



日の入りて涯(はて)の帳
(とばり)や春の海
(余島にて)直行



春ベベでおんもに出たい
みいちゃんよ 直行



湯の面(つら)の逆さ臍
(おぼろ)が手に零(こぼ)れ
(厳島にて)直行

ワイズニュース

来年度(24-25)の西日本区理事を神戸クラブの鶴丹谷剛メンが務められます。六甲部のクラブ全体で応援しようと評議会でも決議されました。来年度の西日本区大会は2025年6月14日(土)に新神戸 ANA クラウンプラザホテルで開催されます。なお、前夜祭が前日に行われますが、大会そのものは1日限りで決定されました。

今年の1月より、基本的に毎月の最終月曜日に大会準備のための実行委員会が開催されています。西宮クラブから馬場貴英、小野、浅野の各メンが参加しています。委員会は登録・会場・プログラム・広報の4つの部門に分かれおり、西宮は神戸西クラブとともに広報委員会に属しています。なお、馬場貴英メンは総括の任務を担われます。広報を担当する西宮の最初の仕事は今年6月の名古屋での区大会でのアピールです。

委員会ではプログラム構成や経費節減のために YMCA 会館でいくつかの会合を行えませんが、或いは登録費が22,000円との方向で進んでいますが、価格を引き下げようとしなければなどの意見交換がありました。クラブの皆様のご意見をお聞かせください。(浅野記)

【今後の予定】

- 5月10日(金) 19:00-20:00 第一例会
ドライバー：岩田メン、馬場貴英メン
- 5月11日(土) 10:00-11:00 三宮会館チャペル
YMCA 創立記念礼拝(138周年)
- 5月24日(金) 19:00-20:30 第二例会
- 6月4日(火) 18:30-20:30 神戸 YMCA(310教室)
第5回西日本区大会実行委員会
6月は4日と24日の2回実施
- 6月8日(土) 西日本区大会 名古屋公会堂
ANA クラウンプラザホテルグランコート名古屋
- 6月14日(金) 19:00-20:00 第一例会
ドライバー：阪根メン、岡田メン
- 6月22日(土) 10:00~15:00 三宮会館チャペル
神戸 YMCA 大会(総会 YMCA EXPO)
- 6月28日(金) 19:00-20:30 第二例会
- 8月8日(木)~11日(日) 国際大会、
タイ・チェンナイで開催 登録費:420ドル



(4月例会追加)



編集後記

ブリテン委員 山口 吉郎

★4月例会は久しぶりカクチーナにて YMCA 職員さんを囲んでの交流会★美味しい食事とお酒とともにいつものカンツォーネで大盛り上がり★会長主題の「楽しく充実した活動」を実現した例会でした★イタリアではアモーレ、マンジャーレ、カンターレと言われます、イタリアらしい楽しい表現です★西宮 YMCA の異動で間勝也館長が転出されました。大変お世話になりありがとうございました★そして新しく本山哲也さんが転入されました。今後ともよろしくお願いいたします★



クレマチス ピクシー